

京都市中央卸売市場協会 (京都府京都市)



食の拠点機能充実事業

中央卸売市場を拠点として、官と民をつなぐ食文化ネットワークを立ち上げました。
京都市民を中心に広く参加を募り、「豊かな食文化が息づく街・京都」を実現する多様な事業を行っています。



京都市中央卸売市場協会
会長 池本 周三

京都市は、昭和2年に全国初の中央卸売市場として開設されました。私どもは、京の食文化を発展させるために、平成13年から京都市民の皆様とともに、食の拠点機能充実事業に取り組んで参りました。このたびの受賞を契機に、事業のさらなる発展と充実に努力して参ります。

食の海援隊・陸援隊

市場関係者とともに、「食」の在り方を考える会員制度を発足し、農地と海での収穫体験等を行っています。

小学生向け食育活動

食の未来を担う小学生に向けて、「小学校出前板さん教室」や「子ども料理教室」、「子ども市場見学会」を開催しています。

「鍋まつり」開催

鍋料理を通して、京都市民に市場や食材の魅力を知ってもらうための「鍋まつり」を開催しています。



【応募者】京都市中央卸売市場協会 会長 池本 周三
【事業内容】①京の食文化の発展 ②販路拡大、消費宣伝 ③共同事業の開発推進 ④環境衛生 ⑤市場の管理運営、統括及び総務

北海道中標津農業高等学校 (北海道標津郡中標津町)



計根別食育学校の実践 ～幼・小・中・高連携！地域一体型プロジェクト～

中標津町計根別(けねべつ)地区は、人口1,000人ながら幼稚園から高校までそろった珍しい地域です。学校農場での食育学校に地元の子どもたちを迎え、地域一体型の食農一貫教育を実践しています。



小学生のころ参加していた食育学校で今は教える立場になっていることが不思議ですが、これまでの活動が大きな賞につながり、本当に嬉しく思っています。これからも子どもたちに野菜を育てる楽しさと、命の大切さを伝えられるよう、頑張っていきます。

幼・小・中・高連携の食育学校

8年前から、学校農場を開放しての食育学校を開催しています。野菜の栽培実習や、農畜産物の加工実習、酪農体験などの取り組みを発達段階に応じて行っています。

教えることが学習に

食育学校では、農業高校の生徒たちが、子どもたちに教える立場となります。作物の栽培、食育の意義などを自らが教えることにより、生徒自身の学習効果の向上も狙っています。



【応募者】北海道中標津農業高等学校
【事業内容】学校



“心の畑も耕せる農家でありたい”と想い続けて、
ただひたすらに歩いてきた足跡

結婚を機に新規就農。発酵を中心とした日本食文化の伝承、農業体験、食農教育の実践に取り組んでいます。
「心の畑も耕せる農家でありたい」という想いを軸にした活動が特徴です。



トラクターのように
楽に、早く、
効率的にはできないけれど、
鍬1本で、
心という名の畑を
耕してきたような私の食育。
けれども、
実は心耕されていたのは私自身。
今、やっと種を蒔くことができる
農家となりました。

自家採種の大豆栽培

食への意識の高い人たちに支えられ、
自宅を開放しての味噌作り教室を開催しています。先代から受け継いだ
自家採種の大豆は、収穫の全量をこの教室で使用しています。

農業体験の受け入れ

幼稚園、小中学校、各グループなどを対象に、
農業体験の受け入れをしています。体験と同時に命の大切さ、
作物の命をいただいていることへの感謝を伝えています。

講演活動

子育て中の女性農業者の立場から経営参画支援相談員養成研修で
実践報告を行うほか、食育講演会も開催するなど、
農作物の生産にとどまらない活動を行っています。



【応募者】 森川 美保
【事業内容】 発酵を中心とした日本食文化の伝承、農業体験、食農教育の実践



ハウス 食と農と環境の体験教室

食・環境・教育をテーマに、家族で継続参加する農作業を中心とした体験型の教室。
NPO等の団体の協力で実施し、食と農と環境が自分自身につながっていることを学んでいます。



知って、作って、
食べて、つながってを
コンセプトにしたこの体験教室は、
食と農と環境が
自分自身にもつながっていることを
学ぶことを目的としています。
地道な活動ですが、参加された方から
この体験教室の意義が
周囲の人たちに伝わっていくことを
期待しています。
ハウス食品グループ本社 CSR部

農作業体験

田植え(種まき)→草取り→稲刈り(収穫)体験で、
作物が育つまでの変化や苦勞、自然から受ける影響を体感します。

食事作り

季節感あふれる伝統食を学び、作ることで生産者との交流を深めるとともに、
食生活の改善や食材への関心につなげます。

家族ぐるみ

子どもだけでなく親にも意識変化が生まれ、
親子とも「気づき→変わり→つながりあう」ことを目指しています。



【応募者】 ハウス食品グループ本社株式会社
【事業内容】 食品製造業

べにやしょうじ
紅屋商事株式会社 (青森県弘前市)



**食育コミュニケーション活動による
 豊かな食生活の提案と地域社会への貢献活動**

スーパーマーケットの店舗で実施している「食育週間」にテーマを設け、お客様、従業員、生産者、取引先が連携して、食に関する意識を高めています。



弘前本部 総務課
 杉 義憲 チーフ

地域の食生活を守ること。「食」を通じて地域の人々が健康で豊かな生活を送れるようサポートすることを使命と考え、この活動に力を入れてきました。この受賞を機にスーパーマーケットでの食育活動がさらに広がることを期待しております。本当にありがとうございます。

食育週間

毎月実施している食育週間にテーマを設け、内容に沿った一汁三菜のメニューを提案。食事バランスガイド等を活用して、栄養面での情報も伝えています。

食に関する取り組み

生活習慣病の予防を推進するため、減塩メニューの提案や野菜摂取の啓蒙活動を展開。食生活の改善を訴求するほか、地産地消の推進、収穫体験などの取り組みを実施しています。



〔応募者〕 べにやしょうじ 紅屋商事株式会社
 〔事業内容〕 スーパーマーケット、ドラッグストア

やなぎやほんてん
株式会社柳屋本店 (静岡県焼津市)



**日本の伝統食である
 『かつお節』『だし』のおいしさを伝える活動**

「日本の伝統的な食文化である『かつお節』『だし』のおいしさを、子どもたちに伝えたい」という思いで、食育講習会を開催しています。



今回、このような賞をいただき誠にありがとうございます。小規模ながら長年継続している点が評価されたと感じております。明日を担う子どもたちに日本のよき伝統食品、かつお節やだしのよさを知ってもらうため、今後も地道に活動をしていきたいと思っております。

子ども向け体験学習

講話では、だしの飲み比べでだしの有無・市販のだしの素との違いを自分の味覚で体験し、かつお節削り体験を行います。幼稚園向けの雑誌企画では、工場見学を実施しています。

かつお節・だしの啓蒙

大学生や消費者団体、栄養士団体、地域の地区会などに向けて、講習会、ホームページの食育コーナー、地元向けのフリーペーパーなどで、幅広く啓蒙活動を行っています。



〔応募者〕 やなぎやほんてん 株式会社柳屋本店
 〔事業内容〕 鰹素材加工メーカー（鰹節の製造から鰹を利用した商品の製造）